

PTA改革構 想における 参考資料

大成小キッズサポーター結成へ
向けて

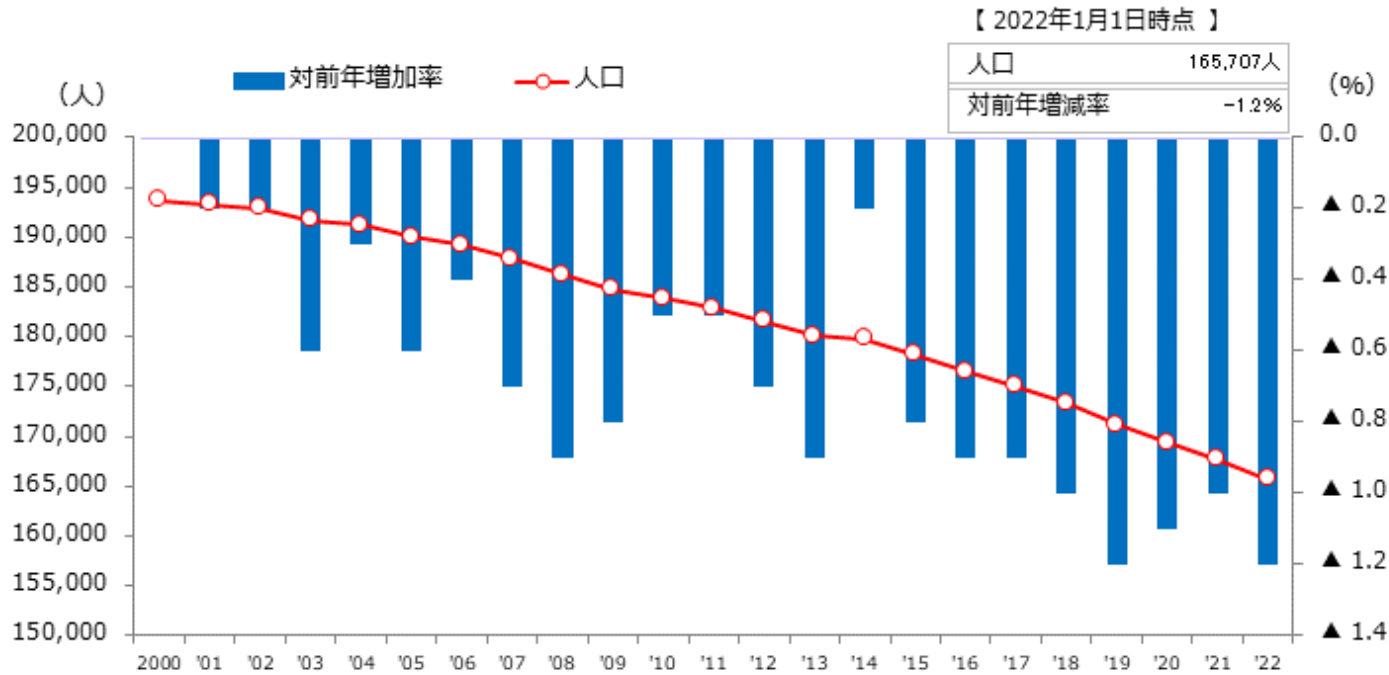
まずはこちらの参考資料からご覧ください。

この色のテキストボックスは説明書きです。

弘前市の人口の推移

弘前市の人口の推移です。2012年からマイナス8.8%。
この10年間で15915人の減少しています。

弘前市の人口の推移 (住民基本台帳ベース、日本人住民)



※1月1日時点の外国人を除く日本人住民人口。

※市区町村の場合は2022年1月1日時点の市区町村境界。

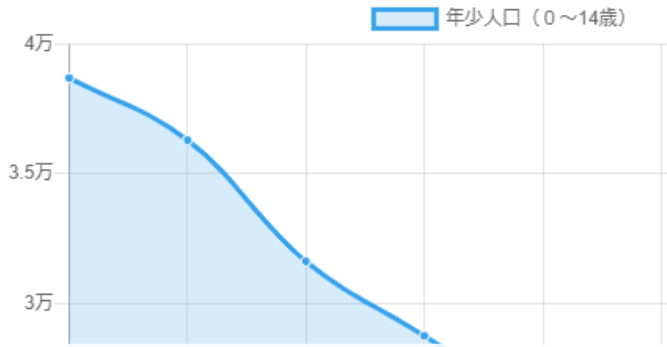
© jp.gdfreak.com

このグラフは弘前市の住民基本台帳に基づく2010年から2022年までの1月1日時点における人口の推移を表しています。
この数値には外国人が含まれていません。
2022年1月1日時点の人口は165,707人。前年からマイナス1.2%、2,017人の減少。また10年前の2012年からはマイナス8.8%(年率換算マイナス0.9%)と、15,915人の減少。

弘前市の年少人口(0～14歳)の推移

弘前市(青森県)

年少人口(0～14歳)
推移グラフ(1980～2020年)
(graphtochart.com作成)



次に0歳から14歳までの弘前市の年少人口の推移(1980年から5年刻みで2020年)です。10年前の2010年と比較しても、4412人減少。79.78%となっています。

1.5万(人) 1980 1985 1990 1995 2000 2005 2010 2015 2020

最も年少人口(0～14歳)が多かった1980年と現在の年少人口(0～14歳)を比べると、2.22倍もの差があり、年少人口(0～14歳)がいかに減少したかが見えてきます。

弘前市の母子家庭について

続いて総人口に対する母子家庭世帯数の割合です。同じくらいの人口の市と比較すると、弘前市は割合が高いことがわかります。

弘前市と総人口数が近い市との母子世帯数を比較(2015年の総人口で比較)

市町村名	総人口	母子世帯数
千葉県 習志野市	175,197人	699世帯
愛知県 西尾市	171,423人	752世帯
青森県 弘前市	168,479人	1278世帯
富山県 高岡市	168,956人	751世帯
北海道 苫小牧市	170,295人	1718世帯

2015年の総人口数と母子世帯数で比較

弘前市は、西尾市(愛知県)よりも母子世帯数の数値が約526も多く、1.699倍も高い

弘前市は、高岡市(富山県)よりも母子世帯数の数値が約527も多く、1.702倍も高い

PTA活動体制見直しの3つのキーワード

多様性

- 様々な家庭環境と家族構成
- 志向や考え方の違い

柔軟性

- 時代や状況にあった選択ができる体制

自主性

- 強制ではなく、自分たちで新しいコミュニティを

今回のPTAの運営改革にあたっては3つのキーワードがあります。
多様性、柔軟性、自主性の3つです。この3つのキーワードを基礎として本題に移ります。

～PTA運営改革構想～

大成小キッズサポーターの実現へ

全保護者と全教員が自発的に活動できる環境づくりのために

「PTA運営改革構想、大成小キッズサポーターの実現へ」ということで提案させていただきますが、1つ、ご理解していただきたいことがあります。それは、これまでのPTA活動を全否定するものではありません。これまでたくさんの保護者の皆さんや先生方の活動があったからこそ、大成小PTAは継続してきたと思っています。何卒ご理解の程宜しく願います。

CONTENTS

- I .大成小PTA運営改革への背景概要
- II .委員会制を廃止～大成小キッズサポーターへ
- III .ボランティア活動について
- IV .その他、懸念事項への対策

I .大成小PTA運営改革への背景概要

今年後の活動を通じて、PTAの活動方法を全てボランティア制に移行したいと考えています。

① 今年度の活動について

- ▶ 昨年度末、活動方法について意見をさせていただき、活動毎にボランティアを募り、4月から活動をしていました。

ホームページ委員会やベルマーク委員会は前年同様、各専門委員会内だけで活動をしています。

春の運動会のテント設営や、夏の宵宮巡回スタッフ、登校指導などの活動はボランティアを募集して行われ、各活動とも十分な人数のボランティアが集まりましたが、逆に、委員会に所属するも活動に全く参加されない方も多く見られました。

そこで来年度からは、このボランティア制度をもっと広めPTA活動方法に関して改革を進めていきたい。

② 今だからこそそのPTA改革

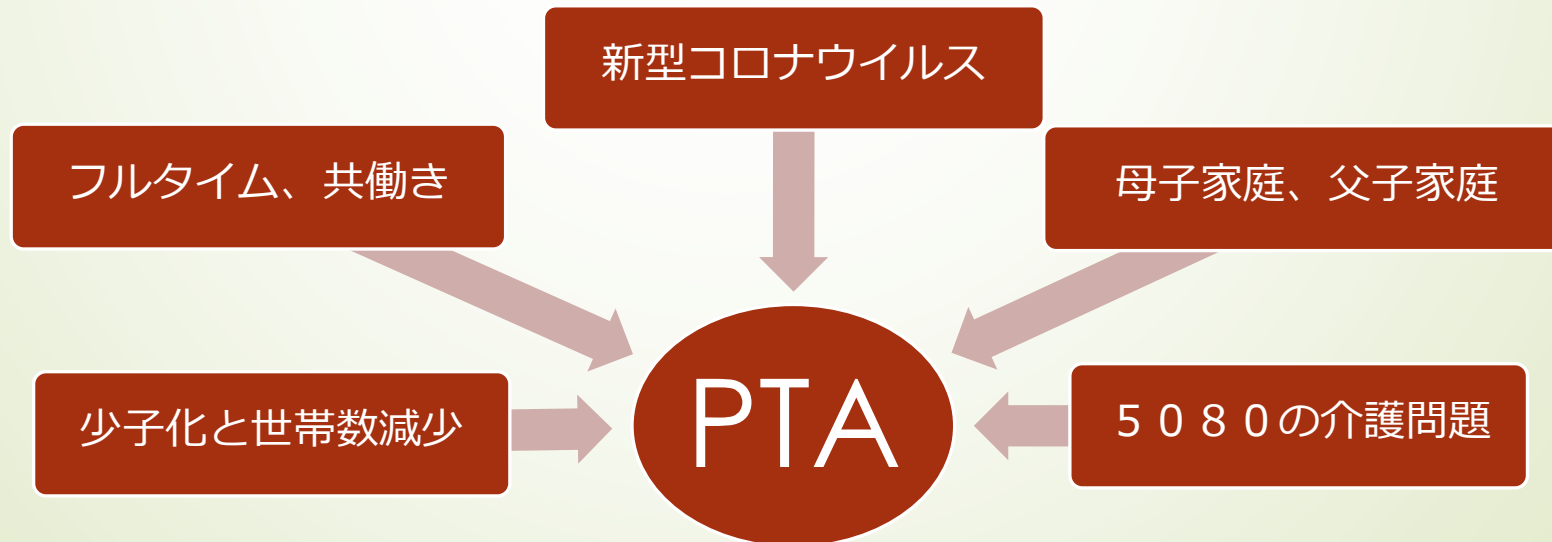
- ▶ 先行き不透明な新型コロナウイルス。

昨年から今年度にかけて、コロナ禍の中でも、スムーズな活動のために皆様のご理解とご協力により、ホームページの活用や、BANDアプリの活用を導入しました。

今後もどのような状況でも継続可能なPTA活動のために、学校と保護者、さらには地域が一体となり、子どもたちを支えられる体制を確立させたい。

そのためには、様々な家庭環境にも考慮したPTA活動の仕組みづくりが求められていると思います。

コロナ禍の中で活動が制限されたままです。ここ数週間、また感染者数が増加。そして超高齢化、少子化。経済の不安、私たちを取り巻く環境が変わってきています。



③ボランティア制度に移行する目的

目的

誰でもやれる時にやれる範囲で参加できる活動を目指す

主体性を重んじた活動になるため、無理せず誰もが楽しめるPTAにする

通年での参加は難しくとも、スポットでの参加なら可能な保護者さんを見出す

新しい活動案や活動方法を誰でも発信、提案しやすい環境を作る

義務感のあるPTAのイメージを払拭する

「義務感」「強制感」等、PTAにはマイナスのイメージがありがちです。義務感については次のページで。

④ 義務化のイメージのPTA活動

委員や役員になること自体が義務

- 6年間のうち2年間は委員になってください。という強制感。

前年同様の活動の義務

大きくこの3つのイメージがあるかと思います。
これらをもっと変えていきたいと思います。
次のページでは新組織図をご覧ください。

- これまでこうしてきたから、このままで良いだろうという思考停止状態での継続。

新しい取り組みや活動に対しての意見の場が少ない

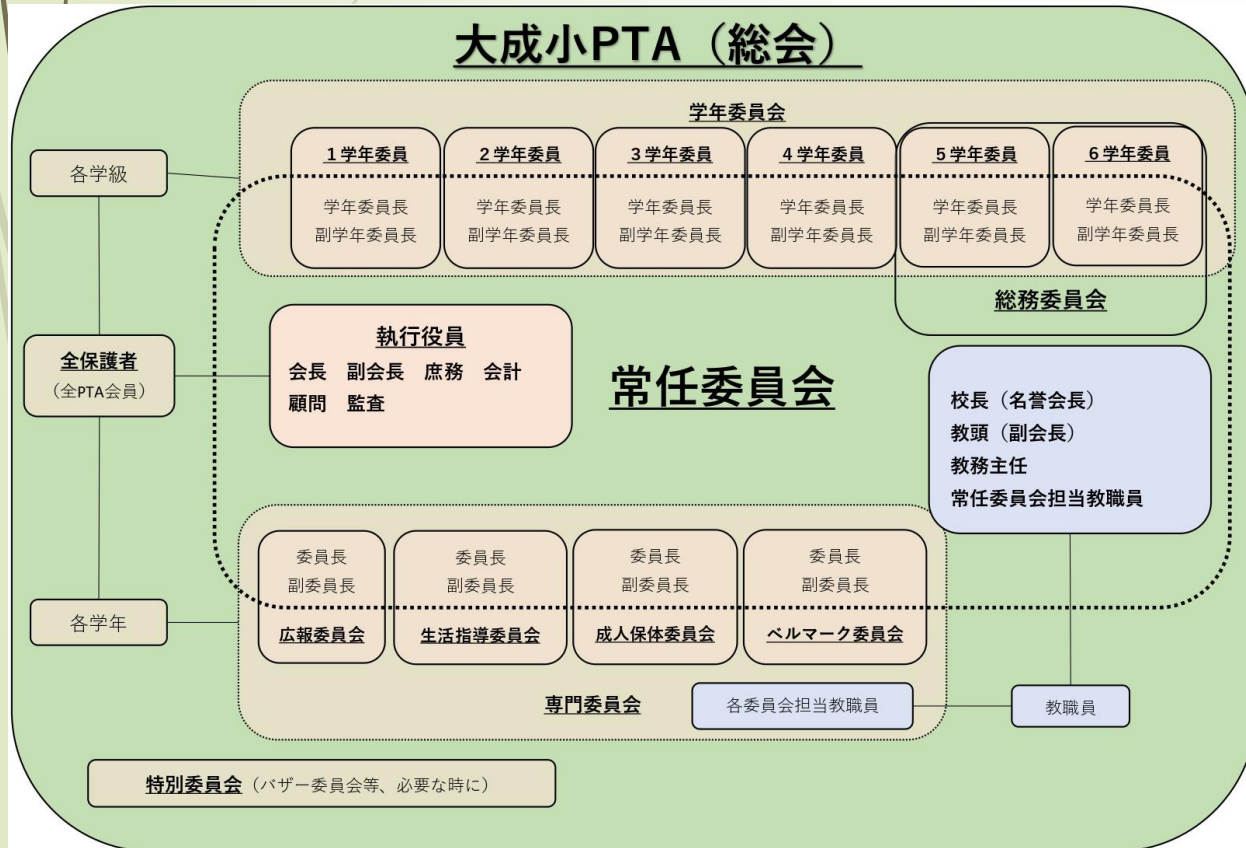
- 役員になっていないと意見を言える場面が少ない

⑤ 改革組織図(案)

まず現在の組織図ですが、大きく学年委員会、専門委員会、そして執行役員の3つの組織があり、その中で各正副委員長を含めて常任委員会という構成です。新組織図の方では、委員会の設定がありません。サポートセンターというグループを中心にしてボランティア活動をしていく、その活動毎に全保護者の皆様、全教職員の皆様からサポーター(ボランティア)を募集して活動します。新組織図については後程、詳細を説明しますので次に行きたいと思います。

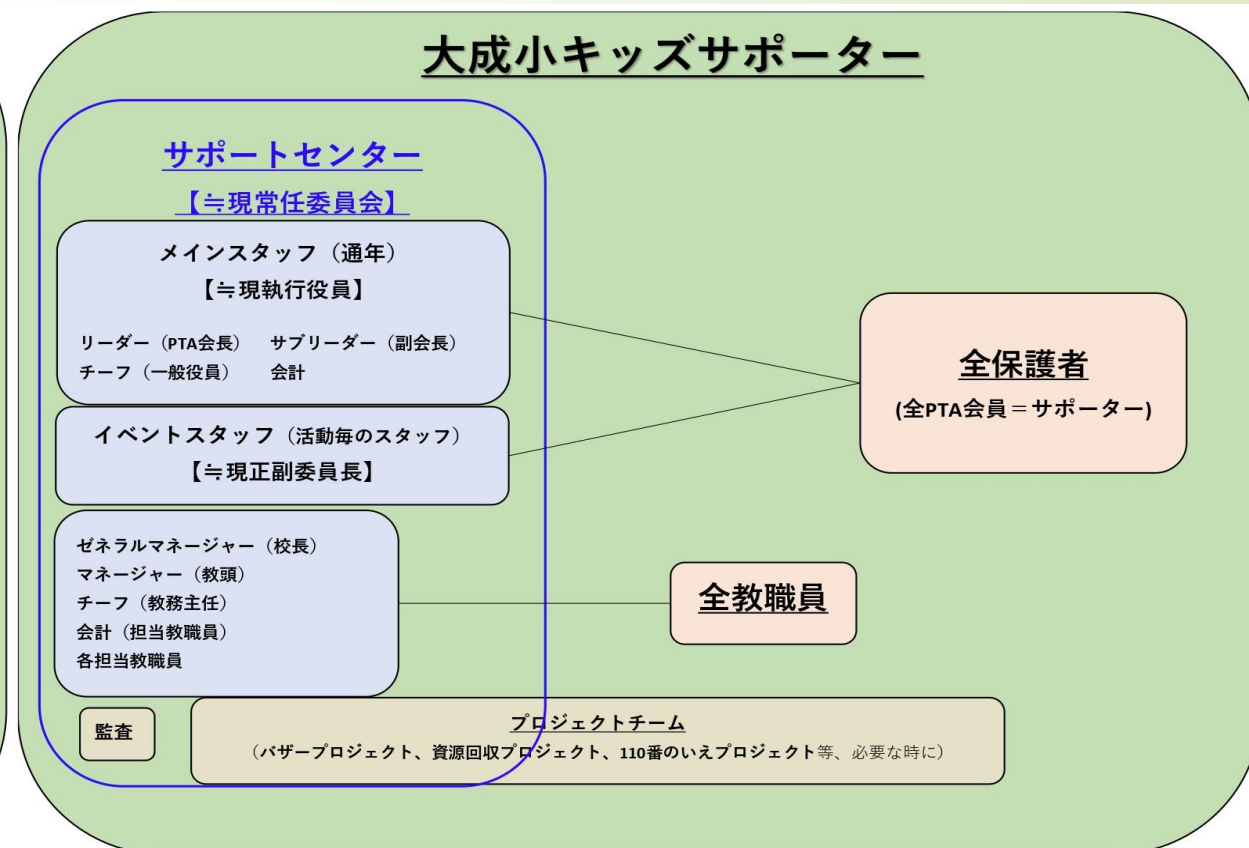
【現組織図】

※各委員会の中でそれぞれのPTA活動を実施



【新組織図(案)】

※全PTA会員で各PTAボランティア活動に参加可能



⑥ 大成小PTAの現在とこれから

参加してくれる人がいるからこそ、この活動は出来る。この活動もできる。でも、参加してくれる人が少ないとこの活動は出来ない。というように、人がそこにいるから活動が生まれるという発想の転換です。

現在のPTA

6年間のうち、2年間は委員会に所属しなくてはいけない

3月の委員会アンケートの集計と沈黙の委員決め

前年踏襲で活動の継続が当たり前

活動の内容やその活動をする〇〇委員会というグループ(組織)があることを大前提で構成される

活動はその委員会に所属する委員のみで行う

常任委員会に参加していないと新たな取り組みや、やってみたいことの発信が難しい

来年度からのPTA

誰でも出来るときにやりたい活動に参加でき、行事ごとや活動毎にボランティアを募集するサポーター制

委員会制を廃止し、主体性に沿ったサポートセンターのスタッフ募集(12月頃から通年)

毎年度、どんなボランティア活動をするのかは自由、かつ出来る範囲で活動

サポートセンタースタッフやサポーターが集まらなければ規模を小さくしたり、やめる事も可能 → サポーターがいてこそその活動内容

活動はその都度、全サポーター(全保護者、全教職員)から、やれる人がやれる時にやりたい活動に参加して行う

サポートセンタースタッフになるのはいつでもOK
実現したい活動案があればいつでも提案できる

Ⅱ. 委員会制を廃止

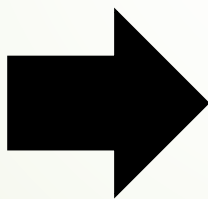
大成小キッズサポーターへ

① 委員会という組織制を廃止

活動内容が決まっている委員会ありきでPTAを構成すると、その委員会に委員がいなくてはいけなくなります。委員会の活動があるから、一定数の委員の人数が必要となり、委員決めアンケートの実施や取りまとめが発生します。

各学年委員会

各専門委員会



- 毎年12月頃から、来年度のサポートセンターのメインスタッフを募集
- メインスタッフで活動スケジュールを作成し、活動毎のイベントスタッフを募集
- イベントスタッフと協力してボランティア活動を実施
- ボランティア活動毎に全PTAの皆さんからサポーター（ボランティア）を募り活動。

そして、第一希望の委員ではなく、とりあえず書いたけれど、第二、第三希望の委員になってしまい、内心不本意だったり、親の介護の事や病気など、それぞれの家庭事情を委員会に参加できない理由で書かなきゃいけなかったりという事が起きてしまうと思います。

② 役職名や名称の変更

委員会制を廃止すると同時に各役職名や使用する言葉等を変更して、堅苦しいイメージを払拭し、親しみやすいイメージに。

執行部役員 → メインスタッフ とし、その中でも

PTA会長 → リーダー

副会長 → サブリーダー

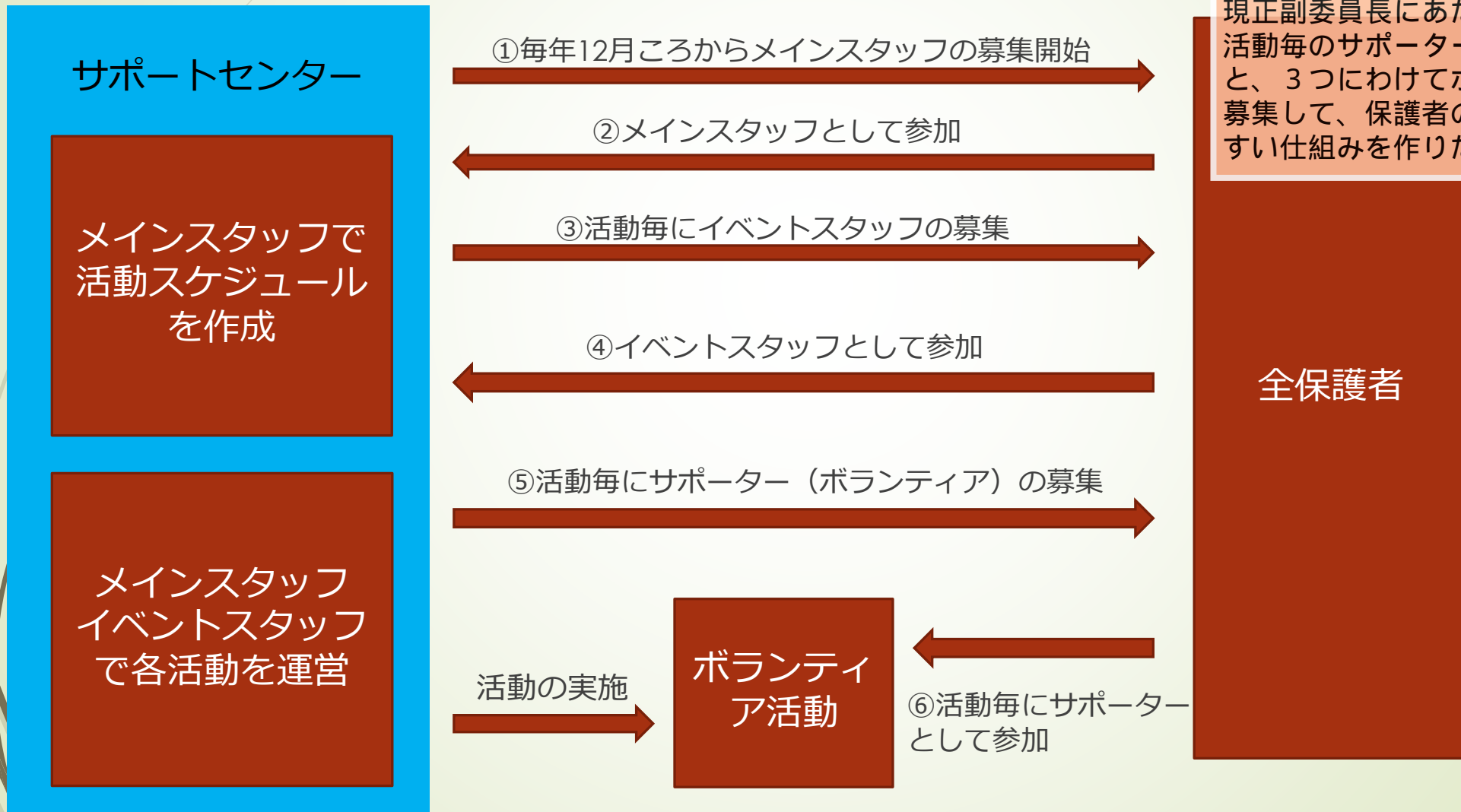
庶務 → チーフ 等に変更。

大成小PTA(大成小学校父母と教師の会)という名称は対外的に残しつつも

大成小キッズサポーター

に名称を変更し活動していく。

③ スタッフやサポーター募集の流れについて



現執行役員にあたるメインスタッフ。
現正副委員長にあたるイベントスタッフ。
活動毎のサポーター。
と、3つにわけてボランティアスタッフを
募集して、保護者の誰もが気軽に参加しや
すい仕組みを作りたいと考えています。

④ それぞれの詳細

	構成	役割	募集時期
サポートセンター	メインスタッフ、イベントスタッフ	大成小キッズサポーターの活動全般の立案、実施	—
メインスタッフ	リーダー(PTA会長) サブリーダー(副会長) チーフ(庶務、総務等の一般役員) 会計、監査 ゼネラルマネージャー(校長) マネージャー(教頭) チーフ(教務主任、担当職員)	≒現執行役員、常任委員会のような役割を担う。 年間を通して、各活動の立案、実施とイベントスタッフ、サポーターの募集。	毎年12月からメインスタッフの募集開始。
イベントスタッフ	活動毎にサポートセンターに加入	≒現正副委員長のような役割を担う ※メインスタッフの人数が多く、十分に活動できる場合は募集しない。	活動時期にサポートセンターから都度募集する
サポーター	全保護者、全教職員	活動毎に参加できる、ボランティア活動に参加。	活動日までにサポートセンターから都度募集する

⑤ 大成小キッズサポーターの組織

新組織図を元に、「大成小キッズサポーター」の仕組みについてです。

- 現在の「常任委員会」にあたるのが「サポートセンター」と呼ばれるグループです。

通年スタッフであるメインスタッフは、リーダーやサブリーダー、庶務、会計、一般役員から構成され、毎年12月ころから募集開始。

メインスタッフの人数が少ない場合、活動毎にイベントスタッフを募集し、活動の企画、運営を行う。

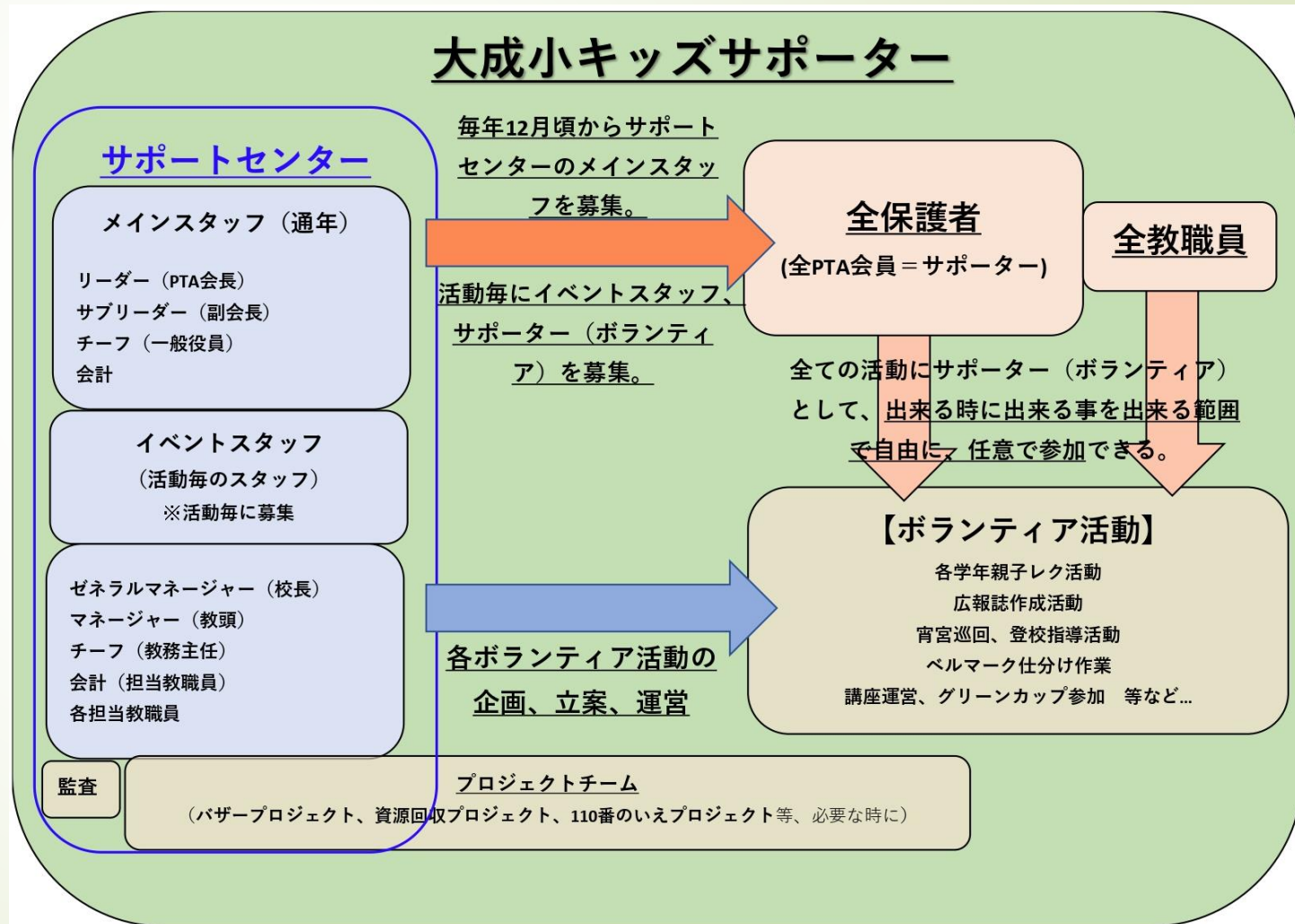
これまで資源回収や110番のいえ等は、総務委員会として6学年、5学年の学年委員の活動でしたが、これはサポートセンター主体で〇〇プロジェクトとして継続。

バザー委員会もバザープロジェクトとして継続。

各ボランティア活動はサポートセンターから発信。

年度初めにサポートセンタースタッフにならなくても、年度途中から参加してもOK。

やってみたい活動案などは発案者がサポートセンターに加入してプロジェクトチームを組み実現へ！



⑥ 大成小キッズサポーターの活動方針

私たちは子どもたちの最大の応援団！

たくさんの「ありがとう」が飛び交うPTA

- ▶ できる人が、できる時に、できる事を、できる限りやろう！

できる人が、できる時に、
できる事を、出来る限り！です。

無理のない範囲で、嫌々じゃなく、楽しく子どもたちを応援したい。

家族優先、仕事優先。無理やり行う活動は継続できません。
もっと楽に楽しくPTA活動をしましょう！

サポートセンターのミーティング(会議等)には子ども同伴でOK！

ホームページやコミュニティアプリ、グーグルドライブ等で学校に来なくても出来る活動を積極的に取り入れて、時間的拘束を少なくしましょう。

Ⅲ. ボランティア活動について

① ボランティア活動の種類(来年度の案)

基本的に現状の活動内容と同じにしています。
 詳細まで記載をしていますが、内容はこれまでと同じです。
 ただ、この活動内容は暫定です。決定ではありません。
 毎年、来年度のサポートセンターのスタッフで話し合ったり、保護者さんへアンケートを取るなどして活動内容や、その大きさや回数等を決めていきます。

親子レク

- 休校日に親子レクリエーションを開催
- ゲーム大会やスポーツ大会、桜保存プロジェクトや登山等を実施
- 活動は学年ごとにこだわらずに行う

広報誌発行

- 広報誌の発行(今年度は1回)
- 各学校行事での子どもたちの様子や卒業生のインタビュー、先生紹介等を掲載
- 活動期間は通年
- 数名程度固定でサポーターを必要

宵宮巡回

- 学区内の宵宮(胸肩神社、最勝院、八坂神社)での巡回
- 子どもたちが危険な場所に行っていないか、子どもたちだけで来ていないか等、事故や事件から子どもたちを守る。
- 毎年6月から7月に計3回

登校指導

- 夏休みなどの長期休暇明けに登校時の見守りを実施
- 特に春や夏休み明けの1,2学年は交通ルールを把握しきれていないため、安全の確認を実施
- 長期休暇明け3回3日間程度ずつ

ベルマーク仕分け作業

- ベルマークの切り取り、点数毎の仕分け集計、発送。テトラパック、インクカートリッジの仕分け作業。
- 活動時期は通年で毎月1回程度。

講座開催

- 保護者や地域の皆様、子どもたちも対象とした講座や教室の開催
 一昨年は「初心者でもできる写真の撮り方教室」や「親子色育講座」「救急救命講習」などを実施

運動会テント設営、PTA競技

- 運動会の予行練習日と、運動会当日の朝のテント設営。運動会終了後の撤去作業
- ここ数年は実施していないが、運動会でのPTA競技の立案、実施。

グリーンカップ争奪スポーツ大会

- 三中学区(第三中学校、文京小学校、第三大成小学校、大成小学校)で行われるグリーンカップ争奪スポーツ大会への参加者募集とりまとめ
- 担当校の時は企画立案

110番のいえプロジェクト

- 大成小学区内の110番のいえのとりまとめ

資源回収プロジェクト

- 年2回、春と秋に資源回収を実施
- 各集積場所とその責任者のとりまとめ

② ボランティア活動のプロセスについて

- ▶ ボランティアの活動内容は暫定的に決定します。

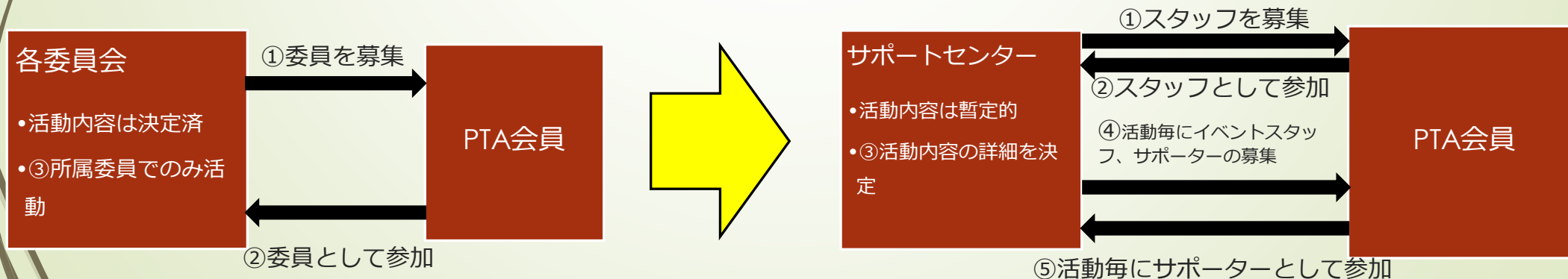
例えば、先ほどのボランティア活動の中で「ベルマーク活動」を止めて、「読み聞かせ活動」をやりましょう、となってもOK。

年間スケジュールや活動内容は、メインスタッフにて暫定的に決定。

- ▶ メインスタッフだけで活動が難しい場合、その活動期間だけのイベントスタッフを募集して、活動の詳細の決定し実施する。

活動の内容ありきではなく、どんな活動をするかは自由で、サポーターがいるから、この活動をする。という発想の転換です。

毎年度、活動内容を見直して活動内容を決定していきます。サポートセンタースタッフ以外の保護者さんからもご意見を頂戴できるように、随時ホームページお問い合わせから受け付けたいと考えています。



③ サポーター(ボランティア)募集方法

- ▶ 大成小PTAホームページ上で募集
大成小一斉メールにてお知らせ
必要に応じて、書面でも募集

④ 各ボランティア活動の担当窓口について

- ▶ サポートセンターが窓口

各活動の問い合わせはサポートセンターで受け付け

- リーダー(PTA会長)への電話連絡
- ホームページ上のお問い合わせフォームから
- BANDアプリを使用??

続いてボランティア制に移行するにあたり、懸念事項がいくつかありますので、その対応についてです。

⑤ ボランティア制移行における懸念事項への対策

● サポーターが集まらないのでは？

例えば、運動会テント設営等、別日に出来ない活動もいくつか考えられますが、その場合でも少ない人数なら、少ないなりに活動をしたいと思います。

- ▶ ボランティア活動に参加していただける方々の人数と作業量や作業内容とのバランスを考えて活動を行います。

絶対的な活動(義務)ではないので、サポーター人数が集まらないような場合は、その活動をお休みにしたり、別の日にしたりと学校側とも相談しながら柔軟な活動をします。

勿論、サポートセンターでは活動の周知徹底に努めます。

モットーは【できる人が、できる時に、できる活動を、出来る限り】です。

周知徹底ですが、早めのサポーター募集と一斉メール。必要であれば、活動日近くに再度一斉メール。教頭先生と連携を取りながら周知徹底に努めます。

- サポートセンターの負担が増えるのでは？
- そもそもサポートセンタースタッフも集まらないのでは？

- ▶ 2023年度は新体制の基盤づくりや、書面書式の役職名の変更作業などもあり、仕事量が増えるかもしれません。

そのためにもサポートセンターのメインスタッフはなるべく多く欲しいところではあります。

時間に拘束されないように、ホームページやコミュニティアプリ、Googleフォームやドライブなどを使用して集まることが出来なくても効率よく打ち合わせをしていきます。

サポートセンターメインスタッフになってくれる人が少ない場合、活動毎にイベントスタッフを募集して活動します。また、イベントスタッフはその活動だけのスポットでの参加でOKです。サポートセンターにはいつスタッフになっても、いつスタッフから降りても大丈夫です。

サポートセンターミーティング(現常任委員会)の日時も変更しても良いです。平日の日中や、土曜日でも良いですし、これまで通り夜でもOK。1ヶ月に複数日の予定を組んで、出れる日に参加できるようにする等、柔軟に対応できるようにします。

⑥ ボランティア制移行のスケジュール(案)

24

R4.11

- 常任委員会にて議論後、全保護者の皆様にホームページ上でお知らせ。
- ホームページお問い合わせから質疑受付。BANDでの質問事項共有と、必要であれば質疑応答内容をホームページ掲載。

R4.12

- 常任委員会にて変更点等の意見交換
- 来年度のサポートセンターメインスタッフの募集開始

R5.1

- 新入生保護者向けの資料作成開始
- ボランティア制活動のための規約作成

R5.2~3

- 来年度のサポートセンターメインスタッフの確定、マネージャー、チーフ、会計等も決定

R5.4

- 新入生保護者の皆様向けに説明会、又は紙面にて
- 新入生の保護者対象にサポートセンターメインスタッフ募集とTKS総会(PTA総会)

R5.5~

- 各活動毎にイベントスタッフを募集
- 活動をしながら保護者の方々からのご意見やご提案をホームページお問い合わせから受付、検討、改善

R6.3

- 会則の変更案作成
- ホームページリニューアル

今回、保護者の皆様のご理解をいただけることが出来たら、このスケジュールでいきたいと思っております。

IV.その他、懸念事項への対策


● 学年委員会について

▶ 学年委員会とは...

【大成小PTA会則第12条】

1. 学年委員会は、当該学年の会員より推薦された学年委員をもって構成する。
2. 学年委員会は、担任教師と緊密に連絡をとり、児童の指導に協力をする。
3. 学年委員会は、会員相互の意識の向上と親睦を図り意見を収集し、学年単位での意思決定をする。

学年委員会が無くなると、この本来の目的が出来なくなるのでは？



学年委員会の委員のみが上記目的を行うことはなく、その学級、その学年の保護者の皆さま全員が、必要な時、当然にその目的を達成するために協力しあうと想定します。改めて学級委員を募る必要は少ないかと思えます。

但し、各学年にて学校で何かあった時のための連絡係として数名の選出は必要だと考えます。

● ホームページ委員会について

▶ ホームページ委員会とは...

【大成小PTA会則第13条第3項第1号】

ホームページ委員会は広報に関する事項を担い、会員相互の意識向上を図るとともに広報誌を発行し情報の伝達と意見の交換を図る。


運動会や学習発表会等での写真撮影、ホームページ上でのブログ掲載等。

2021年度は広報誌を年2回発行。

今年度は年1回の発行。

広報誌作成等のサポーターは出来る事なら、通年でお願いしたいと考えていますが、例えば学年親子レクの時に、参加する保護者さんから写真撮影サポーターや、感想を募集する事も可能ですし、他のボランティア活動もその活動に参加する保護者さん、もしくはサポートセンタースタッフで写真撮影をするのも良いでしょう

ホームページ委員会が無くなり、ボランティアが集まらない場合どうするのか？



サポーター(ボランティア)の応募が無い場合は、活動をお休みする事も検討しますが、ホームページにて広報誌専用のページを追加して、全てWeb上で完結させることや、広報誌の印刷も印刷会社とのやり取りを省き予算をかけないよう、ネットプリント会社にWordでデータ入稿等、柔軟にやり方を変えて活動できればと思います。

●ベルマーク委員会について

活動が年間で8回程度、10時から12時頃とありますが、この作業で集まる時間や、回数も見直しても何も問題ありません。


- ▶ ベルマーク委員会とは...

【大成小PTA会則第13条第3項第4号】

ベルマーク委員会はベルマーク全般に関する事項を担い、ベルマークの整理、発送を行う。

1年間を通して8回程度、10時から12時ころまで集まり作業をしています。

ベルマーク委員会が無くなり、ボランティアが集まらない場合どうするのか？



こちらは現在通年での活動ですので、メインスタッフやサポーター(ボランティア)の応募が無い場合は、活動をお休みする事も検討しますが、例えば、ご自宅で出来るサポーターの募集や、Webベルマークの活用も併せて、全保護者の皆さんへ呼びかけをして活動したいと思います。


さらに、マニュアルを作成して、初めて活動に参加する方もスムーズに作業が出来るようにしていきます。

Webベルマークの説明は後日行いますが、支援する学校を自分で選択でき、Webベルマークのホームページから楽天などのサイトにログインして、購入すると購入金額の数パーセントが、指定した学校のベルマークに加算されるシステムです。

●生活指導委員会について

- ▶ 生活指導委員会とは...
【大成小PTA会則第13条第3項第2号】
生活指導委員会は児童の校外生活指導および交通安全に関する事項を担い、登校指導や安全巡回等を行う。
- ▶ 宵宮の巡回（胸肩神社、稲荷神社、八坂神社）、学期始めの登校指導等を実施。

生活指導委員会が無くなり、ボランティアが集まらない場合どうするのか？



こちらサポーター(ボランティア)の応募が無い場合は、活動をお休みする事も検討しますが、2022年は完全にボランティア制で、活動毎に十分な人数が集まりました。子どもたちの安全のための活動であり、今後もボランティア制で十分活動可能だと想定しています。

●成人教育・保健体育委員会について

- ▶ 成人教育・保健体育委員会とは...
【大成小PTA会則第13条第3項第4号】成人教育・保健体育委員会は文化教養全般に関する事項や保健衛生並びに体育全般に関する事項を担い、会員向けの講座や教室の立案、企画、運営や運動会の補助を行う。
- ▶ コロナ禍において、講座等は開催出来ていないのが現状
- ▶ 運動会の補助に関しては、テント設営や後片付けは今年度はボランティアで行いました。

成人保体委員会が無くなり、ボランティアが集まらない場合どうするのか？

保体の活動内容が運動会テント設営と片付け、PTA競技の立案です。

今後も運動会が午前中で終わり、PTA競技がないということや、グリーンカップ参加者も全保護者から募集するので、ボランティアで十分活動可能です。成人教育の活動は各種講座、講習会の開催です。コロナ禍で開催出来ていませんので、開催できるようになりましたら、活動再開となりますが、何か代わりに出来る他の活動はないか等、今後はサポートセンターでミーティングしながら別の活動も考えてもよいでしょう。

こちらもサポーター

▶ ボランティアの応募が無い場合は、活動をお休みする事も検討しますが、運動会の予行練習日と当日のテント設営や後片付けは、ボランティア制で十分な人数が集まりました。今後もボランティア制で十分活動可能だと想定しています。講座の開催は先行きが不透明ですが、できる人数で出来る事を活動していきたいと思えます。

● 予算・会計について

一般活動費の中に、活動予備費を設ける事や、広報費をネットプリントにしたり、開催されていない講座のための予算など、まだまだ削減できる項目はあります。活動ありき、委員会ありきだと予算も上手く回すことが出来にくいと思います。

- ▶ P T Aの一般活動費は、現在、各委員会の実施計画に基づいて予算・執行・決算が行われています。

人が集まらずに活動の実施不可能、または新たな計画が立案、予算が必要であるとなった場合、対応が難しいのでは？

ここ数年、コロナの影響により、学年親子レクの中止やバザーの中止、成人教育の講座も開催されていませんし、広報誌も今年度は年一回。予算書の項目である、各委員会の活動費（今後は〇〇活動費）をまずは見直したい。一般活動費としての予備費の捻出により、新たな計画や立案に対応できないか？

予算がなくても可能なボランティア活動はたくさんあります。

また、活動が出来なかった時の予算はどうするのかについても常任委員会の場で議論したいと思いますが、基本的には在学児童に還元。または、年度末の2月3月に返金は可能かどうか。

ここについては、学校側と話し合いをしながら柔軟に決めていきたいと思います。収益目的の団体ではありませんので、可能な予算の中で可能な活動をしたいと思います。

来年度の活動に向けて

- ▶ 来年度の活動を委員会を無くし、ボランティア制に移行することは色々な問題が発生するかもしれません。

サポートセンタースタッフを募集するにあたり、理解が得られず誰もならないかもしれません。

もしかしたら発信者である私しかない可能性もあります...涙。

そんな時は、誰のためのPTAなのか？誰のための活動なのか？と自問自答してみましよう。

- ▶ そして、活動のモットーは

子どもたちのために、楽しみながら、
できる人が、できる時に、できる事を、できる限り

まだ、未確定で学校側とも相談するのですが、サポートセンタースタッフには、何かしらの特典を付与したいと思案しています。
候補としては、運動会特別観覧席や、学習発表会最前列優先権等です。

子どもたちのためのPTAです。
活動は誰もが参加しやすく、楽しくなければいけません。
強制を止めましょう！義務感を払拭しましょう！
保護者の皆様のご理解とご協力を、何卒お願いします！

大成小キッズサポーター

Taisei Kids Supporter

たくさんの「ありがとう」が生まれるよう、
サポートセンターを中心に、
全サポーター(全保護者、全教職員)で
自主的に活動しましょう！

以上が改革案です。
最後にまた参考資料を御覧ください。

PTAの誕生

戦前の教育は国家主義でした。
戦後、民主主義の教育に変えるためにも「親が積極的に学校に関わるように」と目的のために作られ、現在のPTAが導入されたそうです。
つまり、PTAは民主主義でなければいけません。
しかし、現状はどうでしょうか？

アメリカで、1897年に発祥。

戦後の1946年 GHQが文部省にアメリカ版PTAの資料を提示し、日本での導入を指導。

日本でその後、「父母と先生の会～教育民主化のために」というPTA結成の手引きを作成。

1947年に全国の都道府県知事に送付され、その後、1年程度で全国の小中高校の80%以上でPTAが組織された（「PTA不要論」黒川祥子著）。

一般的なPTAの体制

現状の日本のPTAの多くは民主主義の体制ではありません。

これからは上から与えられたものではなく、下から改革していく時期だと思います。そして、多様性を考えた上でPTA活動したい。自分たち保護者発信で活動したいと思いました。

PTAはGHQ⇒文部省⇒都道府県知事といった流れにより各学校に導入。
つまり「上」からあてがわれたもの→自発的に必要に応じて結成されたものではない。

学校では各学年から数名が役員に選出され、その選出された役員が1年間、学校行事や地域行事に参加する仕組みです。専業主婦が多かった頃の慣習が根強く残っているせいか、役員はほとんど母親と、女性比率が非常に高い団体であるのも特徴です。

この体制が約75年間、ほとんど変わっていません。

ボランティアの本当の意味

現状のPTA活動は奉仕に近いです。
自発的に活動し、自分にとっては必要でなくとも、誰かにとって必要な活動をすることがボランティアです。
それから、今回のPTAの改革に関して、多様性と申しました。
多様性を考える中で、平等とはなにか？を今一度振り返る必要があります。

ボランティア≠奉仕、無償 ボランティア＝意思、自発性

元々“Voluntas”というラテン語から派生した言葉で自由意志などと訳されます。

また“volunteer”は、他に「志願兵」などの意味もあり、「ボランティア」という言葉には、「意思」や「自発性」という意味が備わっていました。

本来ボランティアという言葉に奉仕、無償という意味はなく、「自分からすすんで行動する」という、自主的な姿勢や気持ちが重要視された言葉です。

大事なのは、「目的達成の手段」が平等かどうかではなく、「機会や難易度、負荷」といった事が、目的を考慮した上で公平かどうかという事だと思います。

平等と公平

左のイラストが現在のPTAです。
真ん中のイラストは「公平」ですが、これを右のイラストまで変えていきたいと思っています。組織というバリアや壁を取り外して「平等かつ公平」な機会を全員が保持できる環境にしたいのです。



個人の違いを考慮せず、全員に「平等」なものが提供されている。



個人の違いを考慮し、それぞれに「公平」な「機会」が提供されている。



構造的なバリアが取り除かれて、全員が「平等かつ公平」な機会を保持している。

最後にこの資料を御覧いただきます。時間がないからPTAをやらない。参加しない。そんな時間ない。ではなく、時間がないから自分の子どもと濃密な時間を過ごすためにも、PTA、今後は大成小キッズサポーターの活動への参加を促したいと思います。皆さんご理解とご協力のほど宜しくお願いします。資料は以上です。ご一読いただき、本当にありがとうございました！

母親:約7年6カ月 父親:約3年4カ月

「わが子と生涯で一緒に過ごす時間」

母親が生涯わが子と一緒に過ごせる時間は約7年6ヶ月（約65,700時間）、父親は約3年4ヶ月（約29,200時間）。

幼稚園入園時には18%が過ぎ、幼稚園卒園時には32%、小学校卒業時は55%……と経過し、高校卒業で親元を離れるころには、73%も過ぎ去ってしまう。

小学校を卒業する時点で、一生のうちに子どもと一緒に過ごせる時間の半分以上も過ぎていきます。

バラエティー番組『チコちゃんに叱られる』(NHK総合テレビジョン)